

岡山県医師会報

OKAYAMA PREFECTURAL MEDICAL ASSOCIATION

2016

平成28年6月10日

第1431号



「進撃のカーブ」岡山市医師会 三戸 敏正（説明は p.57 に掲載）

- 1 **視点** 障害者差別解消 沼本理事
- 3 **会議 県医** 第189回岡山県医師会臨時代議員会
石川会長を3選、新副会長に松山理事
- 15 **会議 県医** 平成28年度岡山県学校検尿・3歳児検尿マニュアル研修会
- 19 **救急災害活動** 熊本地震のJMATおかやま活動報告会
24 JMATおかやまの活動 ラジオで紹介
- 25 **医師会連合** 中国四国医師会連合常任委員会（会長会議）について
- 26 **会議 日医** 日医財務委員会
29 平成28年度全国メディカルコントロール協議会連絡会
- 31 **都市等医師会活動報告** 第38回玉野市臨床研究会・同医師会定時総会
玉野市医師会 副会長 中谷 紳
- 33 **会員の声** お疲れ様に 癒されて 都窪医師会理事 木下 美喜子
- 35 **女性医師コーナー Enjoi通信** 女医の21世紀、輝く未来展望
岡山済生会総合病院 耳鼻咽喉科 平井 美紗都

第8次・木下チーム

(金田病院チーム、5月16日～同19日、益城町保健福祉センター・グランメッセ熊本)

報告者は木下公久医師。医師、看護師、薬剤師、事務の4人の金田病院チーム。1人が派遣経験者。

到着した日は土砂降り。引き継ぎ後、午後から特別養護老人ホーム「いこいの里」に避難している人の診療開始。せきが出る93歳、下肢痛、軽い脱水症。午後5時半本部に帰ったが、地元医療機関に誘導するよう指示を受ける。2日目は快晴、グランメッセ熊本を巡回。足痛のほか高血圧症患者には地元医療機関を紹介した。午後から「いこいの里」で診療。災害派遣ナースから褥瘡患者の治療を頼まれた。右転子部に3センチの褥瘡。3日目は、午前、午後ともグランメッセ熊本を巡回、妊婦がいたが問題なし。抗てんかん薬内服者の服薬確認、目まい、熱中症、高血圧症の人を診た。日中でもまだ30台くらいが駐車、医療ニーズはあると思われ、19日以降も引き続き巡回診療をするよう本部に要望した。最終日は派遣チームにストレスチェックシートを配布されたという。

課題としては、情報共有の問題。一つの避難所に様々な支援組織が入っており、その内では情報共有がされているだろうが、組織を超えての情報共有をどうするか。指定外の避難所の情報共有はさらに難しいという。

「貴重な体験の機会を与えて下さった県医師会に感謝するとともに被災地の一日も早い復興を祈っています」と結んだ。